

『地域創生学研究』第4号（特集テーマ「災害と地域レジリエンス」）の原稿募集について

近年、自然災害が急増しています。また、その被害も増大している傾向にあります。我々が安心・安全に暮らすうえでは一人ひとりの防災意識や防災への対策が重要ですが、その一方で、地域そのものも災害に対する備えを高めておく必要があります。それは災害被害を未然に減らす防災や減災の対策であったり、または生じてしまった被害への対応であったりします。

いま、こういった困難な状況に適応できる能力を表す概念として「レジリエンス」という考え方に注目が集まっています。「危機対応力」とも表されるこの言葉は、これまでも個人や組織を対象に検討がなされてきましたが、近年は地域にも当てはまるものとして考えられています。広い範囲に被害をもたらす自然災害に対応するうえでは、地域それ自体が「レジリエンス」を高めておく必要があるとされています。そうすることで災害の被害を減らし、また被災したとしても、いち早く復旧に向けて動き出すことができると考えられています。

ただ、この「地域におけるレジリエンス」がどういったもので、またそれをどのように高めていくのかといった議論は緒に就いたばかりであり、いままさに本格的な議論が求められつつあります。そのような意味で、今回の『地域創生学研究』第4号では、この「地域レジリエンス」を特集テーマとし、災害と地域の関係について考えたいと思います。迫り来る災害リスクに対して地域はどうあるべきなのか、私たちはどのような備えをなすべきなのか、災害に強い地域にはどのような特徴があるのか、また実際に起こってしまった災害にいち早く対応するためには何が必要なのか。理論的考察は言うまでもなく、こういった現実的にも強く求められる課題に対する論究が求められていると考えられます。今年度の『地域創生学研究』では、研究分野を越え、より広い視点からこのテーマについて考えていきたいと思えます。皆様からのご投稿をお待ちしています。

ご投稿の際は「投稿規程」をお読みにになり、下記期日までに「投稿エントリーシート」に必要事項をご記入のうえ、地域創生学群資料室(rd-siryoun@kitakyu-u.ac.jp)までご提出ください。

また『地域創生学研究』では、自由投稿による原稿も募集しています。論文、研究ノート、資料紹介など、こちらも「投稿規程」ご参照のうえ、「投稿エントリーシート」を通じて御応募下さい。

『地域創生学研究』第4号

- ・ 投稿エントリーシートの提出締切：2020年10月16日（金）
- ・ 原稿提出締切：2020年12月18日（金）